

講習会 機械の振動・騒音低減と快音設計に役立つ解析技術

第1技術委員会 丸田芳幸
中央大学

第1技術委員会では、講習会「機械の振動・騒音低減と快音設計に役立つ解析技術」を開催しました。会場を中央大学の後楽園キャンパスでお借りして2017年10月24日に実施し、47名の方が受講致しました。

本講習会の企画趣旨は、音響・振動に関する数値解析の基礎理論と実務に有効な解析技術および解析事例の解説を行い、併せて数値解析で失敗に陥りやすい留意点の紹介もを行い、振動・騒音低減と快音設計の技術開発・製品開発に役立てて頂くことです。騒音・振動を担当して3年間から約5年間になる中級技術者を対象受講者として、数値解析の理論と解析ツールの紹介に加えて、実際の機械製品の騒音改善で数値解析を利用した事例の紹介なども、講義しました。数値解析の精度を向上するためには、実験解析の併用も必要であることなども講義されました。講義中の様子が右の写真です。講習会終了後のアンケートによりますと、右図に示すように約8割の受講者が内容を理解しております。今回は下記内容の講習を実施致しました。

- I. 音響・振動の解析手法・音質評価と快音化事例
- II. 音響・振動解析用アプリケーションソフトの紹介
- III. 流体音の解析手法と事例
- IV. 振動音・電磁音の解析手法と事例
- V. 数値解析と実験による機械音の改善事例

2018年も秋に中級技術者向けの講習会を開催し、「(仮)空力音・流体騒音のメカニズムと静粛化」を予定しております。関心をお持ちの方は、奮ってご参加ください。



写真. 講習会の様子を会場後方から

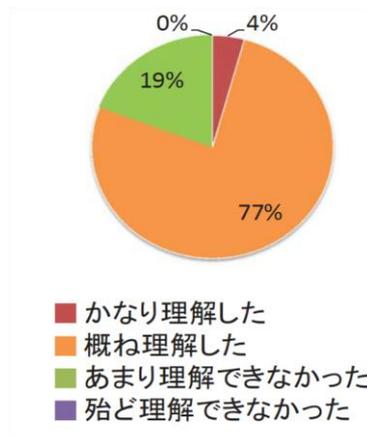


図. 講義内容の理解度 (アンケート結果)